



News Letter

2018年

11月

中国四国農政局
島根県拠点

斐川町鉢物生産組合（島根県出雲市）



10月中頃のハウス内の様子

シクラメンは、島根県の鉢物の主力品目で県全体では19戸の農家で栽培されており西日本でも有数の産地となっています。

斐川町鉢物生産組合のシクラメンは、県生産の約半分にあたる200品種16万鉢が栽培されています。また、シクラメン以外に「フラワー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した島根県オリジナル品種の紫陽花（品種：万華鏡、銀河）、花壇苗なども栽培されています。

シクラメンの出荷は、鉢の大きさによって異なりますが5寸鉢（鉢の直径15cm）の場合は11月中旬から12月上旬頃にかけて行います。出荷時

「斐川町鉢物生産組合」は、昭和40年頃に6戸の農家から始まり、現在は組合員8戸になりました。「ニコニコ園芸」代表の角田 美比古（かくだ よしひこ）氏は、組合員の多久和農園で修業した後、平成16年からシクラメン栽培を行うため新規就農されました。

斐川町鉢物生産組合では月1回定例会が実施され、情報提供及び情報交換が行われています。9月～12月の間での時期は、シクラメンの出荷が最盛期になるため、2カ月に1回程度、各組合員の農場（施設）を巡回し、生育状況等を確認してアドバイス等を行っています。



11月中頃のハウス内の様子



出荷前のシクラメン

期の調整は、ほ場での気温により開花の早晩が変化するものの、概ね40日前までに適宜摘花することにより、養分の消耗を防いで調整しているそうです。12月からは、来年度の出荷に向けたシクラメンの播種が始まります。また、シクラメンは組合員個々で品種改良が行われ、新しい品種の開発が行われています。

売れ筋の品種は、「パステル系」で、単色の赤・白・ピンクは安定した人気となっているそうです。

ぜひ、華やかなシクラメンをお部屋に飾ってみてはいかがでしょうか。

インフォメーション

GAP情報サイト

「Goodな農業!GAP-info(ギャップインフォ)」の公開について

農林水産省は、GAPに関する一般消費者等の認知度向上を目的に、GAPに関する情報発信を強化した情報サイト「Goodな農業!GAP-info」を公開しました。

GAPについては、各地域で取組が進められている中、本情報サイトでは各都道府県におけるGAP認証の取組状況GAPに取り組んで生産された農産物に触れていただけるような関連イベントの情報などを掲載し、各地におけるGAPに関する取組を積極的に紹介することで、一般消費者の皆様にもGAPへの関心を持っていただき、農業者の取組を後押ししていきたいと考えています。



詳しくは、こちらをご覧ください。「Goodな農業!GAP-info」

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html>

2018年漁業センサスにご協力をお願いします



漁業センサス

平成30年11月1日現在（流通加工調査は平成31年1月1日現在）で「2018年漁業センサス」を実施します。

「漁業センサス」は、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的に、統計法に基づいて5年ごとに行う大規模な調査です。

漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。ご協力をお願いします。



詳しくは、こちらをご覧ください。

2018年漁業センサス(農林水産省ホームページ)

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/2018/2018fc.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 島根県拠点

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線211) FAX(0852)27-0641 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>